

kodawari_{vol.40}

150th Anniversary

特集

創業150周年を迎えて



~~~~~  
SINCE 1875

## 村瀬建築(株)の新シンボルマーク

村瀬建築の“村”の文字を一筆書きで表し連続柄にもなるこのシンボルマークは、無から有の創造。「お客様に満足していただける住まいを造る」を信念に、お客様と共に末永く幸せを築く企業としての姿勢を表現しています。また、村瀬建築が明治8年から創業150周年であることを連続柄15個で表しています。



村瀬建築株式会社



展示場 “百楽の家”

## 不動産情報



**600万円** 13.8万円/坪  
住所 岐阜市水海道4丁目  
面積 143.46㎡  
種類 土地建物



**250万円** 6.0万円/坪  
住所 岐阜市加野6丁目  
面積 136.88㎡  
種類 土地建物



**558万円** 5.0万円/坪  
住所 岐阜市大蔵台  
面積 364.94㎡  
種類 土地



**150万円** 2.1万円/坪

売却済

## kodawari設置店



**LUZ(ラズ)様**  
住所 岐阜市鎮下1-55  
電話 058-245-1944  
営業時間 火～土 9:00～19:00  
日 9:00～18:00  
定休日 月・第2・3火



**Wing-R様**  
住所 岐阜市加野2-25-8  
電話 058-241-3375  
営業時間 火～土 9:00～18:00  
定休日 月・第2・3火



**喫茶&ギャラリー木楽様**  
住所 岐阜市中川原4-3  
電話 058-231-6178  
営業時間 9:00～13:00  
定休日 火・木・金



**平工アイスクリーム店様**  
住所 岐阜市金竜町4-6  
電話 058-246-1458  
営業時間 10:00～17:00  
営業日 うかいシーズンのみ



**しょうしん 長森支店様**  
住所 岐阜市琴塚2-7-3  
電話 058-240-1101  
営業時間 窓口 9:00～15:00  
ATM 8:00～21:00  
定休日 窓口：土・日・祝



**スタンダード商事(株)様**  
住所 岐阜市加野4-28-14  
電話 058-243-1269  
営業時間 7:00～22:00  
定休日 年中無休



**あんどう内科クリニック様**  
住所 岐阜市東駒爪町5  
電話 058-262-2974  
診療時間 月・水 8:30～12:00 17:00～19:00  
火・金 8:30～12:00 17:00～20:00  
木・土 8:30～12:00  
休診日 日・祝・木午後・土午後

季刊誌『kodawari』を店内に設置していただけるお店を募集しています！  
設置していただけるお店にはkodawari設置店のコーナーに無料でご紹介させていただきます！



総合建築・一級建築士事務所・不動産

**村瀬建築株式会社**

〒501-3107 岐阜市加野4-27-18 Tel.058-243-2295 Fax.058-243-2312  
E-mail: murase@violin.ocn.ne.jp URL: http://www.murase-kodawari.com/

許可登録：特定建設業 岐阜県知事 第12641号、一級建築士事務所 岐阜県知事 第10476号、宅地建物取引業 岐阜県知事 第4100号

お客様に満足していただける住まいを造る

2024年12月31日発行



ホームページ



# 創業150周年を迎えて

おかげさまで、令和7年(2025年)で創業150周年を迎えました。  
これらもひとえに地元地域はじめ、みなさまのご厚意の賜物でございます。改めまして心より厚く御礼申し上げます。

## 地元地域はじめ、 みなさまへの感謝の想い

村瀬建築株式会社は、初代 村瀬 関次郎が明治8年に大工業を始めたことが起源となります。地元を中心に家造りのお手伝いをさせていただき、大正14年に創業50年を迎えてから5年程経った頃に村瀬寅一が2代目となりました。先代同様地元を中心に大工業を続けるなか、約20年後の昭和23年に福井地震が発生し多くの家屋が被災したため福井へ修繕に行きました。昭和34年に昭和の三大台風のひとつである「伊勢湾台風」が発生、翌年には台風11号・12号が連続して来襲、更にその翌年昭和36年には梅雨前線豪雨により3年連続して地元にも甚大な被害が生じました。2代目 寅一は日頃の感謝の気持ちを込めて被害に遭われた住宅の修繕や建替に尽力致しました。

時を経て昭和47年に村瀬 博が3代目となり、村瀬建築を立ち上げ代表になりました。

3代目就任3年後の昭和50年に創業100年を迎え、公共工事でも手掛けるようになりました。

そして昭和62年に株式会社化し村瀬建築株式会社となりました。

時代は平成になり、3代目の長男 賢一が大学を卒業し村瀬建築株式会社に入社、実務経験を積み一級建築士を取得し一級建築士事務所を設立、翌年、一級建築施工管理技士も取得し業務の幅が広がりました。

平成20年には賢一が4代目となり自身その他に一級建築士を雇用し設計業務においても更に拡大してきました。

平成23年に東日本大震災が発生し、木造住宅の耐震診断や耐震補強工事が急増しました。2、3年後からは落ち着き始めましたが、令和6年に能登半島地震が発生してから再び木造住宅の耐震診断や耐震補強工事が急増しています。

村瀬家は代々、地元消防団員として地域貢献してまいりますが、地域を超えて能登半島においても村瀬建築株式会社として手助けできないか考えていたところ、木造の仮設住宅を建設する大工を募集していることを知り、令和6年4月～6月の3か月間従事させていただきました。

震災から約半年後、被災された方がやっと仮設住宅に住めるようになり生活に慣れてきた9月に今度は豪雨が襲い再び被災され住むところを奪われてしまいました。11月になり再び木造の仮設住宅建設大工を募集するようになり、12月～翌年2月までの3か月間従事することとなりました。

令和7年は村瀬建築株式会社 創業150周年です。今一度、150年の歴史を振り返り、先代・先々代・初代の、地域への感謝の気持ちを繋ぎ続けてまいります。そして現4代目からは地域を超えて出来る限り、困った方のお手伝いを続けてゆこうと考えております。

◀ 1875

▶ 2025

### 村瀬建築(株)150年の歴史

- 明治8年(1875年)  
初代 村瀬 関次郎 大工業を始める
- 大正14年(1925年)  
創業50年
- 昭和初期(1930年頃)  
2代目 村瀬 寅一 大工業を継ぐ
- 昭和23年(1948年)  
福井にて被災家屋の修繕に従事
- 昭和34年(1959年)  
台風被害家屋の修繕や建替に尽力
- 昭和47年(1972年)  
3代目 村瀬 博 村瀬建築を設立し代表となる
- 昭和50年(1975年)  
創業100年
- 昭和52年(1977年)  
博 一級建築大工技能士 取得
- 昭和61年(1986年)  
社屋を現在の場所に移転
- 昭和62年(1987年)  
村瀬建築株式会社に改め株式会社化
- 平成4年(1992年)  
博 長男 賢一 大学卒業し村瀬建築株式会社 入社
- 平成7年(1995年)  
賢一 一級建築士を取得し一級建築士事務所 設立
- 平成8年(1996年)  
賢一 一級建築施工管理技士 取得
- 平成10年(1998年)  
博 匠の国岐阜県伝統建築家 認定
- 平成12年(2000年)  
宅地建物取引業 開業
- 平成14年(2002年)  
賢一 岐阜県木造住宅耐震相談士 取得
- 平成16年(2004年)  
賢一 一級建築大工技能士 取得
- 平成20年(2008年)  
4代目 村瀬 賢一 代表取締役 就任
- 平成25年(2013年)  
木造住宅の耐震診断・耐震補強工事が着実に始め
- 令和6年(2024年)  
再び木造住宅の耐震診断・補強工事が急増
- 4月～6月  
能登半島にて木造の仮設住宅建設に従事(1回目)
- 12月～2月  
能登半島にて木造の仮設住宅建設に従事(2回目)
- 令和7年(2025年)  
創業150年



表紙の写真  
築60年の古民家リノベーション工事 施工中

# 継承・発展・未来を切り開く 受け継がれる匠の技を追求して

## 「継承」

近年全国的に少子高齢化によりどの職業においても人手不足の問題が取りだたされています。  
大工作業員も年々高齢化し大工を目指す若者が減っています。

大工の技術は時間をかけて鍛錬や経験を積んで習得するものです。この代々受け継がれている大工の技術を絶やさぬように村瀬建築は大工希望の新入社員や学生のインターンシップ受け入れ、弊社オリジナルの大工育成カリキュラムを活用し若い世代に大工の技術を教育して技術を継承していきたいと思っています。



## 「発展」

職人不足に加え、少子化も年々増加している現代において、今までの働き方では担い手不足の問題の要因の一つになっています。そこで現代の生活スタイルや従業員の意見を取り入れて働き方の見直しをし、皆が働きやすい環境を考え実践しているところです。今期から土日週休2日制を導入しました。



今後、問題点があれば話し合い改善していければ離職率を下げ未来の発展に繋がると期待しています。  
こうした社内の働き方改革の一環として岐阜県が認定する「ぎふ建設人材育成リーダーディング企業」と岐阜市が認定する「ぎふし共育・女性活躍企業」にそれぞれ認定されました。今後も社員の環境を確立し会社が発展していくように努めます。

## 「未来」

今後の取り組みとして村瀬建築は新旧良いところを合わせ持つ、古民家再生を目指して取り組みたいと考えます。地球規模で温暖化が問題になっています。住宅で温暖化を抑制する為には、断熱効率が良い住まいを作ること、持続可能な自然エネルギーの活用を取り入れながら、先人から受け継いだ思い入れのある建物(古民家)を融合し新しい住まいを創造します。令和6年能登半島地震による石川の仮設住宅建設に携わり、耐震構造の住宅が大切な物だということを皆さんに強く知って頂きたいと感じました。再生するその古民家は耐震補強を施し、住まう方や受け継がれる方が安心安全に暮らしていける住宅となります。

全国的に空き家が増加しています。古民家を現代の技術と昔ながらの風合いを合わせ持つ新しいリフォームを多く手がけて行きたいと思っています。空き家問題と大工の技術向上を同時に行うことで、地域貢献と技術継承を実現するのが目標です。

150年続く村瀬建築が更に地域と共に発展していくことを願って未来永劫日々精進いたします。



左から：渡邊 長井 市川 内木 平工 村瀬社長



安全大会 救命講習



3月末の花見会



合同旅行



バーベキュー大会

村瀬建築は協力業者の皆さんと工事中のみならず一年を通して交流を深めています。  
様々な交流を通してお互いの考えや今後の見通しなどを分かち合い仕事に反映しています。今後もお客様に満足していただける住まいを造るため取り組んで参ります。

村瀬建築(株)を  
支える  
仲間たちとの  
交流



## 令和6年 年間 耐震診断・耐震補強工事 報告

令和6年元旦に能登半島にて最大震度7の地震が発生し、ニュースなどで多くの民家が倒壊している映像が放映されました。震度7で倒壊した民家のほとんどが昔ながらの土葺き瓦屋根で壁は土壁、南面や北面は極端に壁の量が少ないことが主な要因です。一方、新耐震基準（昭和56年6月以降）で建てた家は阪神淡路大震災や熊本地震、今回の能登半島地震でも倒壊を免れていました。そのため各自治体では木造住宅の耐震化を図るため新耐震基準前に建てられた木造住宅の耐震診断を無料で行い、耐震補強工事には補助金を支給しています。岐阜市では通年最高100万円のところ、令和6年度は最高200万円まで支給されます。（令和7年度も最高200万円の予定）

能登半島地震の影響で令和6年度の耐震診断の申込が数日で満了となりました。その後も申込が殺到したため秋口にもう一度申込を募集し、こちらもあっという間に満了になりました。

村瀬建築株式会社でも耐震診断を9件（12月現在）行いました。耐震補強工事は能登地震前から計画していた1件を施工しました。フルリノベーション工事なので満額の200万円支給されます。

耐震補強工事のご相談もここ数年は2～3件でしたが令和6年は十数件と大幅に増えています。

耐震補強工事で大切な命と財産を守りましょう。

村瀬建築株式会社では耐震診断・耐震プラン・耐震補強工事を20年以上手掛けている実績がございます。耐震は高度な知識と経験・技術が必要です。ぜひご相談ください。

### 耐震診断



お客様に診断内容をご説明

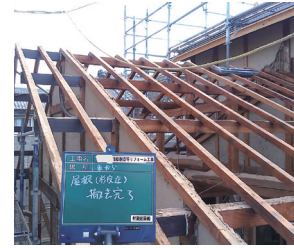


基礎の鉄筋の有無を金属探知機にて確認



天井裏から筋交いを確認

### 耐震補強工事



重い土葺き瓦屋根から軽量の板金屋根に葺替えると地震に有利になります



壁の強さに応じた金物を設置



室内用耐力面材「かべ大将」にて補強



## 能登半島被災地にて木造仮設住宅建設

1回目

令和6年4月～6月までの3か月間、元旦に発生した能登半島地震被災地にて木造の仮設住宅建設に携わりました。兵庫、京都、山形、岡山、埼玉、三重、岐阜など全国から大工が集結しました。建設地周辺の宿泊施設も被災されていたため、毎日片道2時間半掛けて遠い宿泊先から通いました。大変でしたが被災者の為という志があったので誰一人めげずに文句も言わずに大工も監督も一致団結して造りました。

被災から半年後から入居が出来るようになりました。入居から2～3か月経ち生活に慣れた頃に今度は豪雨に遭い、出来たばかりの仮設住宅に住むことができなくなりました。

12月から新たに木造仮設住宅を建設することになり、村瀬建築株式会社からも再び2月まで建設します。今後でも能登に限らず要請を頂いたら携わっていきます。一日も早くみなさんの笑顔や平穏な日々が戻りますようにお祈り申し上げます。



全国から大工が集結し数十棟を同時進行



高齢者の多い地域のためバリアフリーに配慮した造り



7号棟他数十棟を完成させました



12名1週間で2棟建てました

## 令和6年 年間施工報告

Information

### M様邸古民家リフォーム工事



**工事場所** 羽島市 **構造** 木造2階建 大正14年建築 土葺瓦屋根 外壁（土壁・板張・トタン張） 内壁（漆喰塗・聚楽塗・プリント合板張）

**工事内容** 昭和55年に増築したDKを解体し碎石敷駐車場に、瓦屋根一部葺替、既設茶の間などをDKに間取り替し既設梁を活かした古民家カフェ風に模様替え、五右衛門風呂がある1帖の浴室を1坪のUBに取替、1坪のトイレ兼脱衣室を1帖のトイレ専用間に間取り替し既設梁を活かし古民家内装、外周部・下屋に断熱材充填敷込、古い電気温水器からオール電化エコキュートに取替、外で使用していた洗濯機を脱衣室で使えるように間取り替、複合フローリングから無垢インドネシアンチークに張替（トイレ床はコルクタイルに貼替）、減築による耐震化、窓取替、室内木製建具桧羽目板製作品、沈み込んでいる通し柱の沈み込み静止処置、既設土壁現し部に漆喰塗壁。

### A様邸リノベーション工事

**工事場所** 岐阜市 **構造** 木造2階建 昭和47年建築 土葺瓦屋根 外壁（トタン張） 内壁（漆喰塗・聚楽塗・プリント合板張）

**工事内容** 2016年に耐震診断。2024年に岐阜市の耐震補強工事補助金対象仕様にて耐震補強工事を実施。外装はトタン張からガルバリウム鋼板に張替、タイルの浴室を1坪のUBに取替、外周部・下屋に断熱材充填敷込、オール電化IH・エコキュートに取替、無垢インドネシアンチークに張替（水廻り床はコルクタイル貼替）、室内木製建具桧羽目板製作品。



断熱等級4・耐震等級3相当

### F様邸水廻り内装リフォーム工事

**工事場所** 岐阜市 **構造** 木造2階建 築15年 瓦屋根 外壁（サイディング） 内壁（PB・クロス貼）

**工事内容** 各部屋・廊下の壁クロス張替、キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・便器取替工事。子育てエコホーム支援事業対象商品にて補助金申請。



### Y様邸水廻りリフォーム・廊下張増工事

**工事場所** 山県市 **構造** 木造2階建 築30年以上 内装（床：複合フローリング 壁：クロス貼）

**工事内容** 廊下の床無垢板張増工事、タイル浴室をユニットバスに取替、洗面所トイレ床壁改修工事、シロアリの被害による廊下補修工事。



県立寿楽苑の玄関軒裏の木質化工事



長森中学校外壁等落下防止及びその他工事



鶯小學校外壁落下防止工事